

中小企業の経営改善および地域活性化のための取組状況

■ 中小企業の経営支援に関する取組方針

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」の精神のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを経営理念としております。

お客さまの経営課題に共に取り組むため、知識・ノウハウを蓄積し、的確なアドバイスやソリューション提案に努めてまいります。また、グループのネットワークを活かし、質の高いサービスを提供するとともに、地域金融の担い手として円滑な金融支援に努めてまいります。

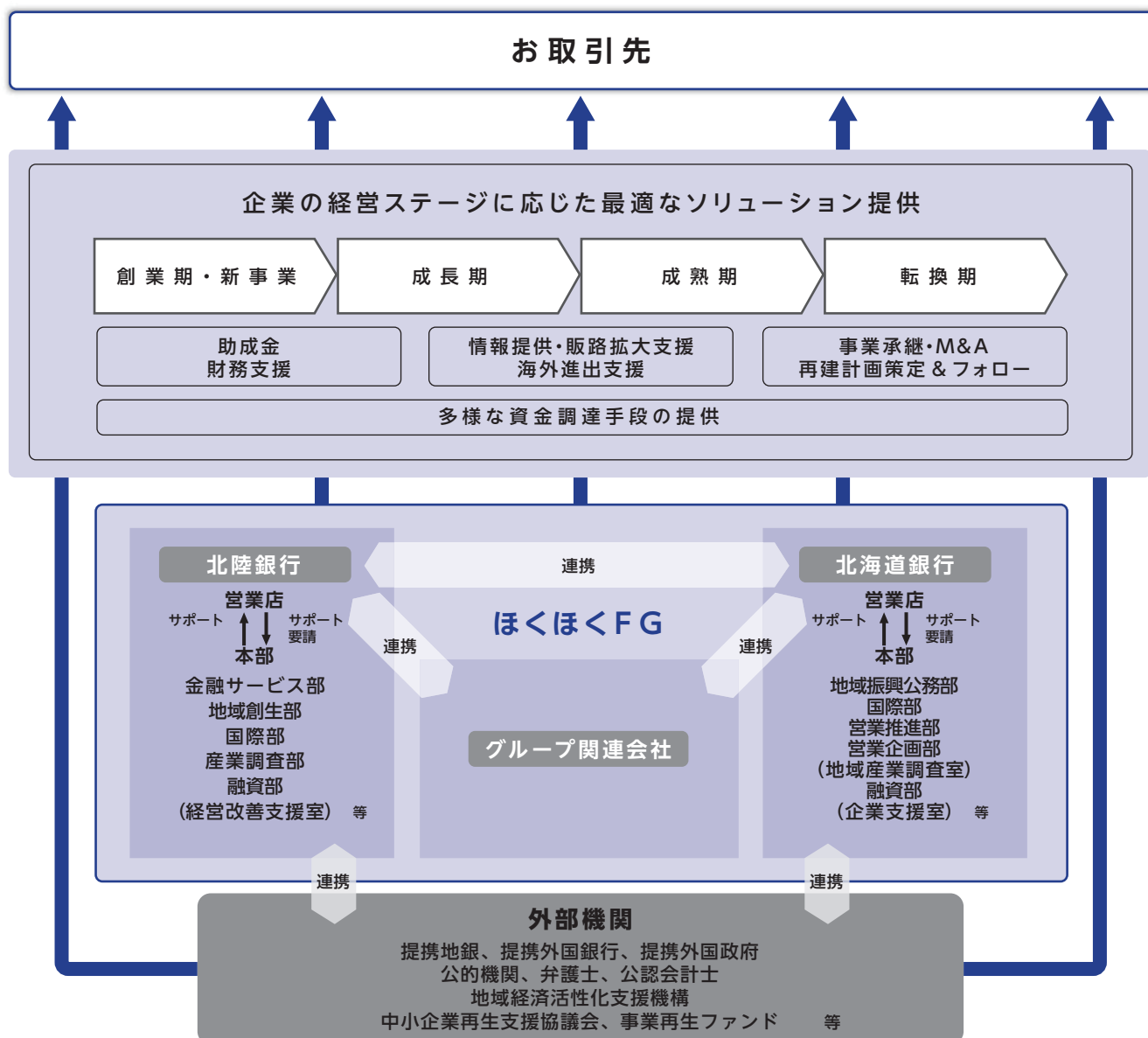
お客さまの経営支援を通じて地域活性化に貢献し、地域から親しまれ頼りにされる金融グループを目指してまいります。

■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備

ほくほくフィナンシャルグループでは、「経営基盤の強化」の取り組みの1つとして、中小企業の経営支援に取り組んでいます。経営改善支援取組先の選定、事業計画の策定と実績のフォローを北陸銀行融資部（経営改善支援室）、北海道銀行融資部（企業支援室）が担っています。また、営業力の向上にむけたお取引先への情報提供と販路拡大支援、海外進出支援に関するサポートを北陸銀行地域創生部、金融サービス部、国際部、産業調査部および北海道銀行地域振興公務部、営業推進部、営業企画部（地域産業調査室）、国際部が担い、事業承

継、M&Aについては、北陸銀行金融サービス部、北海道銀行営業推進部がそれぞれ外部専門機関と連携し、営業店とともにコンサルティングを行っています。また、各担当部・室では、お取引先に対する目利き力、コンサルティング力を持つ人材の養成に努めています。

経営の改善のための取り組みに関する計画・実績・進捗状況等については、経営会議や取締役会が各担当部・室より報告を受け、指示を行い、諸施策等の改善やさらなる充実を図る態勢としています。



■ 中小企業の経営支援に関する取組状況 (平成27年度実績)

1. 創業・新規事業開拓の支援

当社グループでは、創業や新規事業を考えるお取引先に対し、制度資金やベンチャー向け投資ファンドなど資金調達面からの支援や産学連携を通じたニーズの発掘、成長分野への情報提供を行っています。

＜公的助成申請サポートによる創業等の支援＞

公的助成制度の紹介や申請書策定支援により、お取引先の新規事業意欲を後押しし、事業多角化をサポートしています。

(平成27年度)

| | | 北陸銀行 | 北海道銀行 |
|------------|------|------|-------|
| 創業・第二創業補助金 | 採択件数 | 8件 | 13件 |
| ものづくり補助金 | 採択件数 | 76件 | 58件 |

また、「平成27年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」へ申請を検討・準備しているお取引先に対して、北陸銀行および北海道銀行(道銀地域総合研究所と連携)では専門家によるアドバイスや申請支援を行っております。

＜創業支援にかかる外部連携強化＞

北陸銀行では、富山・石川・福井県の日本政策金融公庫各支店および各県の信用保証協会と連携・協力に関する覚書を締結し、創業者の相互紹介による円滑な資金調達や、各種創業セミナーの開催などを協力し合うことで、創業者のサポート充実を図っています。

＜経営者へのサポート＞

・「創業支援チーム」の発足

(北陸銀行)

1月に創業者へのサポート体制強化を目的として「創業支援チーム」を発足しました。専属の担当者が事業計画の策定、創業後の販路拡大・人材確保に関するビジネスマッチング情報の提供や、セミナーの開催などきめ細かなサポートを行っています。

また、3月には「創業計画書策定の手引き」を発刊し、創業者向け融資商品「ほくぎん創業支援ローン」、「ほくぎんオーナーズローン」も新たに発売しています。



・「道銀創業支援塾」、「道銀農業経営塾」の開講

(北海道銀行)

創業を目指す経営者候補と創業3年以内の経営者の方々を対象に、北海道中小企業総合支援センター(北海道よるず支援拠点)、株式会社日本政策金融公庫との共催で、事業計画、会計・税務など創業に必要なノウハウを学ぶことができる「道銀創業支援塾」を開講しました。(平成27年度 第1期卒業生 11名)

また、農業生産法人や農業経営者の「企業化」への支援を目的として平成23年度より「道銀農業経営塾」を開講しております。「経営理念」「経営管理(財務・税務・労務)」「販路拡大・販売戦略」などの情報を、専門家の講義や参加者との意見交換を通じて習得し、将来の北海道農業の担い手となる経営者の育成に取り組んでいます。



・農業経営アドバイザーの取得促進

農業を成長分野と位置付け、アグリビジネスに強い人材の育成を進めています。「農業経営アドバイザー」の資格取得者を増やし、

本部・営業店に配置することで、農業分野のお取引先に対するコンサルティング力を高めています。

(平成28年3月末現在 北陸銀行:農業経営アドバイザー28名、北海道銀行:農業経営アドバイザー49名、農業経営上級アドバイザー3名)

・社会福祉法人のための「農福連携」セミナー開催

(北海道銀行)

農業分野への参入を検討している社会福祉法人を主対象に具体的な事例紹介や、現地視察等を行うセミナーを開催しました。

成長分野に位置づけられている「医療・介護」「アグリビジネス」を、本取り組みを通じて連携させていくことで新たなヘルスケア産業の創出を図っていきます。

本部機能のほか、外部機関とも連携し、北海道ヘルスケア産業支援協議会メンバーとして社会福祉法人と農業生産法人とのマッチング支援など、お取引先のサポートを行っています。

＜投資ファンドを活用した資金調達支援＞

・「道銀どさんこファンド3号」

(北海道銀行)

起業・新規事業等に取り組むベンチャー企業や中小企業等への投資を通じて、地域経済の発展と産業振興に寄与することを目的として平成26年に設立し(ファンド総額5億円)、今年度は4件1億142万円の出資を行いました。

・「ほっかいどう地方創生ファンド」

(北海道銀行)

地方創生・活性化に寄与することを目的として、地域資源を活用して成長を狙うベンチャー企業や中小企業などへファンドを活用した投資を行っています。道内の信用金庫や信用組合、北海道ベンチャーキャピタル株式会社と組成しており(ファンド総額8億1千万円)、今年度は抗体医薬品開発会社(札幌市)およびインターネットサービス・フリーWiFiスポットの構築・運営を行う企業(札幌市)への出資を行いました。

・「ほくりくアグリ育成ファンド」

(北陸銀行)

地域農業の成長・発展に貢献することを目的として、農業法人に対して日本政策金融公庫等と共同出資を行う投資業務を開始し(ファンド総額1億円)、今年度は水稲と大麦の栽培業者(小矢部市)および水稲栽培を中心とした農業経営を行う事業者(高岡市)への出資を行いました。

・「道銀アグリビジネスファンド」

(北海道銀行)

6次産業化支援を目的として、農林漁業成長産業化支援機構等と組成している本ファンド(ファンド総額30億円)を通じ、今年度は道産ワインのブランド力向上による地域振興を目指し設立されたワイナリー新会社(余市町)への出資を行いました。

・「ほくりく6次産業化ビジネス成長ファンド」

(北陸銀行)

農林漁業の6次産業化に取り組む事業者への支援・提案ツールとして、富山銀行、のと共栄信用金庫および農林漁業成長産業化支援機構などと設立し(ファンド総額2億円)、今年度はカフェ&レストラン運営事業者(輪島市)への出資を行いました。

2. 成長段階における支援

当社グループの広域店舗網や提携外部機関とのネットワークを活用した商談会やセミナーの開催等を通して、お取引先の販路開拓や工場進出といった事業の拡大を支援しています。商談会では、テーマの絞り込みや事前相談などにより、お取引先にとってより有益なビジネスマッチングの機会となるよう工夫した取り組みを行っています。

また、海外行政機関や金融機関等との業務提携、海外駐在員事務所による情報提供を通じて、お取引先の海外進出支援や現地における継続的なビジネス展開の支援に努めています。

<販路拡大のための商談会開催>

・「ビジネス・サミット2015」

～北陸新幹線開業！「食」と「観光」の大商談会～ (北陸銀行)

6月、富山市で「食」の販路開拓と「観光」の魅力発信をテーマにした大商談会を大垣共立銀行と開催しました。

北陸新幹線沿線都市や中京圏、北海道の食品加工業者・観光団体が出展し、小売り業者や海外とのパイプを持つ商社などのバイヤーが商談に参加しました。(出展企業126社、バイヤー数67社、商談件数約700件)



・「北陸地方」商品発掘商談会 with 伊藤忠食品 (北陸銀行)



6月、伊藤忠食品株式会社が実施している「地域産品プロジェクト」(地域産品の地産全消を目指した取り組み)に富山県とともに協力し、地元のおいしい食材を紹介し、同社の販売ネットワークを通じて地元企業の販路拡大を支援する商談会を、東京にて開催しました。

当日は富山、石川、長野、新潟の企業が同社の営業や仕入れ担当者に自社商品を紹介し、活発な商談が行われました。(参加企業数23社)

・「北海道の「食」特別商談会 in 函館」 (北陸銀行・北海道銀行)

8月、水産加工品の一大産地である函館においてイカや昆布等を扱う地元水産加工業者の販路拡大を支援するため、道外のバイヤーを招いて商談会を開催しました。

北海道新幹線開業に伴い、北海道産品に対する関心は高まっており、熱心な商談が行われました。(出展企業数15社、バイヤー数10社、商談件数100件)



・「首都圏バイヤー&シェフチャレンジ」 (北海道銀行)



「地域再生・活性化ネットワーク」(平成26年1月に北海道銀行を含む地銀9行で構築)では、各地の選りすぐりの食品を首都圏の百貨店等のバイヤー、ホテルやレストランのシェフに紹介し、販路拡大に結び付ける取り組みを開始しました。味や価格に加え、パッケージを生かした既存商品との差別化など、さまざまな観点からアドバイスが行われました。(出展企業数27社)

・「地方銀行フードセレクション2015」 (北陸銀行)

11月、北陸銀行を含む全国41行の地方銀行の主催で、「食」関連のお取引先がそれぞれの地元の特産品を首都圏のバイヤーに売り込みました。(来場者11,233名、出展社585社・団体)

・「北海道の「食」特別商談会 in 小樽・後志」 (北陸銀行・北海道銀行)

11月、豊かな農畜産物・水産資源等を活用した付加価値の高い加工食品や地域特産品等の販路拡大を目的に、道内外のバイヤーを招いて商談会を開催しました。出展企業からは「今後の商品開発を行う上で貴重な意見を頂戴し有意義だった」「明日からすぐに実行できるアドバイスを頂き、大変実り多かった」などの感想が寄せられました。(出展企業数16社、バイヤー数7社、アドバイザー数1社、商談件数77件、相談件数11件)



・「北海道・東北・北陸ビジネスマッチング in 東京」 (北陸銀行・北海道銀行)

2月、北陸・東北各県と北海道が有する地域特産品の付加価値を高めることや、6次産業化を展望したビジネスマッチングを支援することを目的に、北陸銀行、北海道銀行および「東北・北海道地区交流促進地銀連携」に参加する東北10行とのリレーションを活かし、お取引先と首都圏を中心としたバイヤーとの商談会を開催しました。新幹線開業でより身近になる北陸・北海道・東北に対するバイヤーの関心は高く、積極的な商談が行われました。(出展企業数36社、バイヤー数18社、商談件数102件)



・「北海道新幹線開業記念「イトーヨーカドー北海道函館・青森フェア」への出展を支援」 (北陸銀行・北海道銀行)

北海道新幹線開業を記念し、全国のイトーヨーカドー170店舗で3月22～27日に開かれた「北海道函館・青森フェア」の出展企業募集のため、1月に札幌市で個別商談会を開催しました。北海道銀行・北陸銀行のお取引先34社がエントリーし、15社が個別商談に進みました。4社がフェアに採用され、2社は経常的な取引が実現しました。

<海外進出サポート>

(1) 各種セミナーの開催

・海外展開リスク管理セミナー (北陸銀行・北海道銀行)
8月、札幌市において、東京海上日動火災保険株式会社との共催で、海外展開を検討している地元企業を対象に海外特有のリスクと事例およびその対処方法について解説しました。(参加者27名)

・ほくりく長城会セミナー (北陸銀行)
9月、富山市にて、中国市場でのビジネスモデルの構築法について講師を招いて解説しました。(参加者58名)

・ロシアビジネスセミナー in 函館 (北海道銀行)
4月、函館市においてJETRO北海道、在札幌ロシア領事館と共催し、北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所長が、ロシア極東地域における最新のビジネス環境および道内企業の動きを報告しました。(参加者26社50名)



・貿易実務セミナー (北海道銀行)
7月、札幌市において海外取引経験の少ない企業向けに、貿易実務について基礎から学べるセミナーを開催し、貿易の仕組み、契約書、輸出入の手続きなどについて具体的な事例を交えながら講義を行いました。(参加者25名)

・海外駐在員事務所長帰国報告会 (北陸銀行・北海道銀行)
当社グループの海外駐在員事務所長が、各地域での最新の現地事情や経済動向、現地で収集した生の情報などについて講演を行いました。
・4月開催(帯広・札幌)
北陸銀行バンコク駐在員事務所長、北海道銀行ユジノサハリンスク駐在員事務所長(参加者: 帯広32社60名、札幌32社100名)
・10月開催(札幌)
北陸銀行上海駐在員事務所長、北海道銀行瀋陽駐在員事務所長(参加者12社35名)



(2) 商談会の開催

・「寧波商談会」の開催 (北陸銀行・北海道銀行)
7月、中国浙江省寧波市にて、経済協力協定を締結している市商務委員会との共催により、日本製品の輸出版路開拓に特化した商談会を開催しました。事前のマッチング作業により、お取引先のニーズに合致した中国企業との商談をセッティングすることで成約率の向上を図りました。(出展企業数14社、中国企業数62社、商談件数約300件)



・「ほくほく FOOD EXPO 2015」 (北陸銀行・北海道銀行)
8月、北海道およびカシコン銀行との共催により、タイ、シンガポール、ベトナム、中国、ロシアからバイヤーを札幌市に招き、食品加工メーカーの道産品輸出拡大を支援する商談会を開催しました。(出展企業数48社、海外バイヤー数15社、商談件数159件)



・「2015大連—地方銀行合同ビジネス商談会」開催 (北陸銀行)
11月、中国遼寧省大連市にて地方銀行17行および大連市人民政府で共催し、北海道から九州まで全国を縦断する地方銀行の取引先が部材調達や販路拡大等を求めて出展しました。中国企業との商談や出展企業同士の商談が活発に行われました。(参加企業数:約120社、うち北陸銀行取引先:9社)

・「バンコク日系企業ビジネス交流会」を開催 (北陸銀行)
11月、タイ・バンコクにて地方銀行7行の共同主催によるビジネス交流会を開催し、タイに進出している企業や現地での事業展開を検討する企業などが参加しました。



現地でコンサルティングを行う企業のセミナーが行われたほか、交流会では自社の事業説明や事業拡大に向けた情報交換が行われました。(参加企業数約210社、うち北陸銀行取引先26社)

(3) 国際協力銀行との融資枠設定契約を活用 (北陸銀行)
7月、海外進出している企業の安定的な事業の継続を支援する体制を構築するため株式会社国際協力銀行との間で、中堅・中小企業の海外進出支援等を目的とした融資枠の設定にかかる契約を締結しました。今年度は3件の取り扱いがありました。
①9月に衣料品の製造・販売を行う企業(金沢市)へベトナムでの事業に関する融資を実行。
②11月にアルミ建材の大手企業(高岡市)との間でタイでのM&Aに関する融資の契約を締結。
③3月にプラスチック製品の製造・販売事業を展開する企業(滑川市)との間でベトナムでの事業に関する融資の契約を締結。

(4) 海外進出支援を目的とした業務提携

・北海道総合商事株式会社と業務提携 (北海道銀行)
12月、ロシア極東地域をはじめとした海外市場を目指す道内企業からの地域密着型の総合商社を求める声に呼応し設立された北海道総合商事株式会社と業務提携を行いました。道内企業の方々と出資の協力を行うとともに、当社との提携を通じて、道内中小企業のロシアビジネス等、海外進出支援のサポートを一層充実させていきます。

・株式会社プロネクサスとの業務提携 (北陸銀行・北海道銀行)
1月、アジア地域への進出を検討されているお取引先へのサポート体制を強化するため、企業のディスクロージャー・IR支援の業界大手である株式会社プロネクサスと業務提携を行いました。同社は台湾に現地法人を置き、日系企業を対象とした各種支援サービスを提供するとともに、アジア地域における有力会計事務所と強固なネットワークを有しており、日本語による現地対応と実務支援を推進しています。

3. 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

専担部署や中小企業再生支援協議会などの外部機関を活用したコンサルティングによる経営改善の計画策定やその後の各種モニタリングまでフォローを行っています。

<経営改善・事業再生>

・外部機関との連携強化

中小企業再生支援協議会、小規模企業経営革新支援協会(ASEF)など外部機関を活用した経営改善の取り組みを強化しています。

(平成27年度)

| | 北陸銀行 | 北海道銀行 |
|--------|------|-------|
| 計画策定完了 | 49件 | 20件 |
| 計画策定中 | 21件 | 4件 |

また、地域経済活性化支援機構(REVIC)の特定専門家派遣制度を活用して、「医薬品製造業者・業界の分析」や、「事業性評価研修会」を実施しています。

・深度ある実態把握と経営改善支援

経営改善の課題・改善策を明確にするためSWOT分析を用いた事業性評価や、PDCAサイクルによるモニタリング等により、きめ細かく企業支援活動を実施しています。

経営改善支援の取組実績(平成27年度)

| | 北陸銀行 | 北海道銀行 |
|----------------------|------|-------|
| 重点的な経営改善支援を必要とするお取引先 | 448先 | 259先 |
| うち再生計画を作成した先 | 400先 | 219先 |
| うち事業の改善が確認できた先 | 70先 | 22先 |

・提案力向上のための行内研修を実施

お取引先に対し、よりニーズに沿った提案や経営改善のアドバイスなどができるよう、行員一人ひとりが、強化すべき業務スキルを考え、そのスキルを習得することを目的とした短期集中型の業務研修「ビジネスアカデミー」を実施しています。

また、北陸銀行では、2月に第6回目となる目利きコンテストを開催しました。行員がお取引先の製品・技術を理解し、その特性を生かした事業戦略などの発表を行い、外部審査員を交えた質疑応答を実施しました。会社を良く知ること、自分の意見を論理的に発表することの訓練の場として継続開催しています。

金融円滑化に向けて

当社グループは、地域金融の円滑化を最も重要な役割と捉え、これまで地域のお客さまの資金需要や返済条件の見直しなどのご要望に対して積極的な取り組みを行ってきました。

今後も、中小企業・個人事業主のお客さま、住宅ローンをご利用のお客さまからのご要望に対して真摯かつ柔軟な対応に努め、金融円滑化に関する基本方針に則り積極的な支援を行ってまいります。

経営者保証に関するガイドラインへの取組状況

当社グループは、平成25年12月5日に経営者保証に関するガイドライン研究会(全国銀行協会および日本商工会議所が事務局)が公表した「経営者保証に関するガイドライン」(以下、本ガイドラインという)を踏まえ、本ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢を整備しております。

お客さまと保証契約を締結する場合や保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき誠実に対応するよう努めております。

本ガイドラインの詳細については、以下のホームページをご参照ください。

- ・全国銀行協会 <http://www.zenginkyo.or.jp/abstract/adr/adrsme/guideline/>
- ・日本商工会議所 <http://www.jcci.or.jp/sme/assurance.html>

経営者保証に関するガイドラインへの取組実績(平成27年度)

| 主要計数 | 北陸銀行 | 北海道銀行 |
|------------------------|--------|--------|
| ①新規に無保証で融資した件数 | 4,739件 | 2,205件 |
| ②保証契約を変更した件数 | 869件 | 79件 |
| ③保証契約を解除した件数 | 778件 | 498件 |
| ④ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 | 1件 | 4件 |

<事業承継・M&A>

・各種セミナーの開催

外部機関などと協力し、お取引先の関心が高い分野に絞ったテーマを設定するなど、内容が充実するよう工夫したセミナーを開催しています。

M&A株価診断・相談会

(株式会社日本M&Aセンターとの共催)

参加者:平成27年度上半期 6会場(富山・高岡・石川・福井・札幌・函館)17社
平成27年度下半期 5会場(富山・高岡・石川・福井・札幌)19社

IPO(株式公開)セミナー

(北陸銀行、東京証券取引所、有限責任あずさ監査法人の共催)
参加者:60名

・提案活動の実施

PB(プライベートバンキング)やM&A、事業承継など専門知識を持つ本部部署が営業店と連携し、外部専門機関も活用しながらお取引先のニーズに応じた提案を行い、円滑なビジネス承継や事業拡大の支援活動を行っています。

・「道銀・経営塾」で後継者・幹部育成を支援

(北海道銀行)

お取引先企業の後継者の育成・異業種交流の場として1年間のビジネススクールを開催しています。「道銀・経営塾」は17期目を迎え、幹部社員の育成を目的とした「同(幹部育成コース)」も6期目となりました。

卒業生は682名となり、卒業後も卒業生同士が交流を図り、相互研鑽できる場として講師を招いた定例会等も開催しています。

(平成27年度実績:経営塾卒業生30名、幹部育成コース卒業生34名)

・株式会社日本M&Aセンター「バンクオブザイヤー」の受賞(北陸銀行)

事業承継対策としてM&A業務に積極的に取り組んできた結果、業務提携先である株式会社日本M&Aセンターの「バンクオブザイヤー」を受賞しました。

同賞は、平成27年度に最も多くの成約実績があった提携金融機関に授与されるもので、北陸銀行は平成25年以来2度目の受賞となりました。

■ 地域の活性化に関する取組状況 (平成27年度実績)

<地方創生に関する取り組み>

北陸銀行では「地域創生部」を、北海道銀行では「道銀地方創生本部」を設置し、銀行一丸となって地方創生を推進する体制を構築しています。

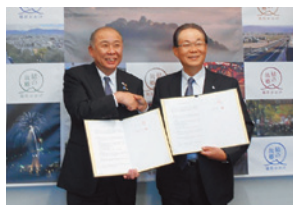
・地方自治体との「包括的地域連携に関する協定」締結

(北陸銀行・北海道銀行)

地域経済の発展に向けた相互の連携強化を目的として、地方自治体との包括連携協定を締結しています。

今年度、北陸銀行では新たに富山県滑川市、南砺市、上市町、立山町、石川県能美市、福井県勝山市、越前市、大野市、北海道釧路町と、北海道銀行では室蘭市、北広島市、恵庭市、釧路市、滝川市、名寄市、美唄市、砂川市を加え、グループ全体では24の自治体と協定を締結しています。

今後も、各自治体が策定した「地方版総合戦略」の推進と「地方創生」に関する事業に積極的に協力していきます。



大野市との調印式



北広島市との調印式

・「移住・住みかえ支援機構(JTI)」との提携 (北陸銀行・北海道銀行)

北陸三県および北海道内への移住・定住(住みかえ)の促進、空き家の有効活用などを通じて地方創生を進めるため、「移住・住みかえ支援機構(JTI)」と提携しました。

北海道銀行では、この提携を活用し、自治体向けに「移住・住みかえ・空き家対策セミナー」などを北海道内各地で16回開催しました。(参加自治体130以上)

・「ふるさと就職応援プラットフォーム」の構築 (北陸銀行)

9月、都市圏から地域内への「人材還流」を推し進めることを目的に民間人材ビジネス業者の3社・1団体と業務提携に関する協定を締結しました。

この協定により、お取引先の人材ニーズを発掘し、提携先の人材情報とのマッチングを支援すること、および自治体や各団体と連携して人材情報を活用することで、「ひと・しごと」の創生と地域経済の持続的好循環の確立を推進していきます。

・リンカース株式会社との業務提携 (北陸銀行・北海道銀行)

大手メーカーと中小企業の技術をマッチングするサービスを提供しているリンカース株式会社と業務提携を締結しました。

取引先企業への同社マッチングシステムの紹介や、大手メーカーの技術ニーズに対し取引先企業の推薦を行うなど、企業・地方公共団体等と協力し、本システムを活用した産業育成のスキームの構築を図ります。

・富山県機電工業会との包括的連携協定の締結 (北陸銀行)

6月、富山県内230社の製造業者でつくる富山県機電工業会と包括的連携協定を締結しました。

ものづくりの強化による地域活性化に向け、新技術や新商品の開発、海外進出に関する支援や協力をしていくほか、ベンチャービジネスに対する投資や融資などでも連携していきます。

・株式会社三菱総合研究所と連携協定を締結 (北海道銀行)

1月、北海道内における日本版CCRC(生涯活躍のまち)を始めとする地方創生関連事業の推進に向けて協力していくことを目的に、株式会社三菱総合研究所および株式会社道銀地域総合研究所と地方創生に係る連携協定を締結しました。

3社のノウハウを活用して、事業の構想・計画の策定から運営支援まで、自治体や民間事業者等の皆さまの共同事業化への支援を積極的に進めていきます。

・株式会社スノーピークと連携協定を締結 (北海道銀行)

2月、デザインと品質に優れたアウトドア製品を製造・販売し、業界でトップブランドの地位を確立している株式会社スノーピークと連携協定を締結しました。

同社の有するアウトドア事業関連のノウハウを北海道内の各地方自治体に提案するとともに、各地の観光資源であるアウトドア施設の「活用強化」や「磨き上げ」の支援および多様な宿泊機会を創出することにより、地域の活性化および雇用の増加へ貢献していきます。



・リージョンズ株式会社と業務提携 (北海道銀行)

3月、札幌に本社を置き、北海道・東北・北関東を拠点とする人材紹介会社リージョンズ株式会社と業務提携を行いました。今回の業務提携では、取引先が抱える人材面における経営課題の解決をサポートすることで、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた「地方における安定的な雇用の創出」、「地方への新しいひとの流れの構築」の実現を目指していきます。

・「地域再生・活性化ネットワーク」による「地方創生応援キャンペーン」の実施 (北海道銀行)

12月、「地域再生・活性化ネットワーク」参加行9銀行の共同企画として「地方創生応援キャンペーン」を実施しました。

9行がそれぞれ実施するキャンペーンにおいて、抽選で各行500名様(9行合計4,500名様)に各地の特産・名産品(18種類)を集めたオリジナルカタログギフトをプレゼントしました。

各地の特産・名産品の知名度向上による地域経済の活性化を目的としており、単一の銀行では出来なかった新しい取り組みとなりました。

・「ほくぎん女性起業支援セミナー」の開催 (北陸銀行)

12月、女性による新ビジネス事業化支援の一環として株式会社日本政策投資銀行と共催しました。

株式会社日本政策投資銀行の「女性新ビジネスプランコンペ



ティション」で受賞歴のある経営者2名を招き、ブランド戦略やビジネスモデルに関して講演が行われました。当日は起業を目指す女性ら約60名が参加し、熱心に質疑が行われ、参加者同士の情報交換も積極的に行われました。